

い

編集発行：池田市議会  
住所：大阪府  
池田市城南  
1丁目1番1号  
郵便番号：563-8666  
TEL：072-752-1111  
FAX：072-753-5414  
http://www.city.ikeda.  
osaka.jp/

いけだ  
No.185  
だ

いけだ市議会だより 令和5年(2023年)8月1日



池田城跡公園の白ユリ

<b>5月臨時会</b>	..... 2
正副議長あいさつ	
各委員会委員一覧	..... 3
<b>6月定例会</b>	..... 4
意見書	..... 4
議決結果	..... 5
<b>一般質問</b>	..... 6
<b>委員会レポート</b>	..... 11
議会日誌	..... 12
やまばと	..... 12

**池田市議会  
録画映像配信を行っています**

市議会では議会改革の一環として、代表質問・一般質問の録画映像配信を行ってききましたが、令和4年3月定例会からは、さらに本会議の議案審議等の録画映像配信を開始しました。本号 P.6～P.10 に掲載の一般質問については、紙面の都合上、一部しか掲載できませんので、詳細については、外部サイト「YouTube」において配信しております録画映像を御覧ください。

池田市議会 映像 🔍





# 5

# 月臨時会



5月臨時会は、5月18日に開会し、まず、議長・副議長はじめ各委員会の委員等を選任しました。

その後、市長から報告案件5件、議案1件、並びに人事案件2件が提出され、いずれも承認・可決・同意し、閉会しました。

なお、議長・副議長、各委員会の委員については、掲載のとおりです。

## 就任の挨拶



議長  
浜地 慎一郎



副議長  
下窄 明

市民の皆様には平素から市政並びに市議会に対し、温かい御理解と御協力をいただき、心からお礼申し上げます。

このたび私たちは、統一選挙後の5月の臨時会におきまして、議長・副議長に就任いたしました。もとより微力ではございますが、市政の推進と円滑な議会運営に全身全霊で取り組んでまいり所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

さて、長きにわたり、社会経済活動に大きな影響を与えた新型コロナウイルス感染症ですが、5月8日から感染症法上の位置づけが「2類相当」から「5類感染症」に移行となり、社会全体がコロナ禍からの脱却に向けて動き出しているように感じます。

マスクの着用も個人の判断に委ねられるようになり、本市におき

ましても、地域の皆様が主体となって、様々なイベントや事業が開催され、楽しい表情を拝見する機会も増えてきました。地域を盛り上げていただいている皆様の御尽力に改めて感謝申し上げます。

日本国内では、ロシアによるウクライナ侵攻による原材料価格の上昇並びに円安の影響により、物価が高騰し、私たちの生活に甚大な影響を及ぼしています。

本市におきましては、これまで12年間にわたり進捗を図ってきた「第6次池田市総合計画」が昨年度に目標年次を迎えました。

今年度は向こう10年間を計画期間とする、「第7次池田市総合計画」のキックオフとなる重要な年となっております。

このようなか、市民の皆様の議会活動に対する期待と関心は、極めて大きなものがあると受け止めています。

市民の皆様が、安心して暮らせるよう、皆様の思いを広く市政に反映させるため、議会としての役割を真摯に果たせるよう、邁進してまいります。

どうか市民の皆様方のより一層の御支援、御指導を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

### 議会選出の監査委員に 藤本 昌宏 議員

今回、議会選出の監査委員に、藤本昌宏議員を選任しました。

監査委員とは、地方自治法に基づき、市やその関係団体の予算執行や事務処理が正確に行われているかどうかを監視するのが主な仕事です。

### 本会議・委員会を 傍聴しましょう

本会議・委員会は誰でも傍聴できます。

本会議は、市役所4階傍聴席入口で住所、氏名を記入するだけで傍聴できます。

本会議を傍聴される方への手話通訳も行っておりますので、御希望の方は、事前（おおむね5日前まで）に議会事務局まで申し込んでください。

委員会は、傍聴席の関係で5人まで傍聴できます。

なお、5人を超えた時は、別室で音声を聞くことができます。

# 常任委員会・議会運営委員会・特別委員会

## 常任委員会

◎委員長 ○副委員長 ( ) 所属党派 議席順

### 総務委員会

定数 6



あぐろ よしお  
◎安黒 善雄  
(大阪維新の会池田)



もりや ひろあき  
○守屋 大道  
(池田未来の会)



ふるかわ ひろのり  
古川 裕倫  
(大阪維新の会池田)



くらた あきら  
倉田 晃  
(未来はくむプロジェクト)



やまもと たけし  
山元 建  
(日本共産党)



こばやし よしのり  
小林 義典  
(自由民主党)

### 文教病院委員会

定数 6



みやけ まさき  
◎三宅 正起  
(大阪維新の会池田)



なむら けんじろう  
○名村 研二郎  
(未来はくむプロジェクト)



おきもと じゅんこ  
沖本 純子  
(大阪維新の会池田)



なかつた まさひろ  
中田 正紀  
(池田未来の会)



ふじもと まさひろ  
藤本 昌宏  
(公明党)



はまち しんいちろう  
浜地 慎一郎  
(自由民主党)

### 厚生委員会

定数 5



あらかし ますみ  
◎荒木 眞澄  
(公明党)



まつもと けんじろう  
○松本 康二郎  
(自由民主党)



しもざき あきら  
下窄 明  
(池田未来の会)



ささむら ゆりこ  
笹村 有理子  
(大阪維新の会池田)



ふじわら みちこ  
藤原 美知子  
(日本共産党)

### 土木消防委員会

定数 5



さかがみ しょうえい  
◎坂上 昭栄  
(池田未来の会)



そのべ けいこ  
○園部 佳子  
(未来はくむプロジェクト)



ごまくぼ りょうた  
胡摩達 亮太  
(大阪維新の会池田)



にしがき さとし  
西垣 智  
(自由民主党)



ただ りゅういち  
多田 隆一  
(公明党)

## 議会運営委員会

◎委員長 ○副委員長 議席順

定数	委 員 氏 名
8	◎浜地慎一郎 小林 義典 ○下窄 明 三宅 正起 中田 正紀 安黒 善雄 倉田 晃 荒木 眞澄

## 特別委員会

◎委員長 ○副委員長 議席順

委員会名	定数	委 員 氏 名
空港・交通問題調査特別委員会	10	◎小林 義典 胡摩達亮太 多田 隆一 ○沖本 純子 守屋 大道 三宅 正起 名村研二郎 中田 正紀
まちづくり防災特別委員会	10	◎山元 建 西垣 智 荒木 眞澄 ○古川 裕倫 藤本 昌宏 安黒 善雄 坂上 昭栄 倉田 晃 笹村有理子 園部 佳子
市議会だより編集特別委員会	6	◎西垣 智 園部 佳子 ○中田 正紀 山元 建 笹村有理子 藤本 昌宏



# 6月定例会



6月定例会は、6月9日に開会し、市長から提出された報告案件2件と議案7件、並びに人事案件6件を本会議及び委員会と審議を行い、いずれも承認・可決・同意しました。

6月29日・30日の継続会では、市民の声を広く市政に反映させるため、16人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

また、市長から提出された追加議案2件を審議し、原案どおり可決し、6月定例会を閉会しました。

## 13m級放水塔付消防自動車ほか2件の動産を取得

今回配置するはしご車及びタンク車の機能を有する13m放水塔付消防自動車は、少量の水で効率的な消火を行うことができ、水損防止にも優れている圧縮空気泡消火装置等を装備した車両です。

また、あわせて災害対応特殊消防ポンプ自動車を配置します。

さらに、消防職員間の感染症対策のため、仮眠用カプセルベッド36床を購入します。このカプセルベッドは個室型であるため、遮音性に優れており、仮眠中の職員に対し個別に緊急発令を行うことが可能であり、緊急時の円滑な出動

に対応できます。これら3件の契約案件が提案され、審議の結果、全会一致で可決しました。

## 市税条例の一部を改正

地方税法等の一部を改正する法律の施行等に伴い、森林環境税の賦課徴収の開始に伴う規定の整備をはじめ、給与所得者の扶養親族等申告書の記載事項の簡素化や、特定小型原動機付自転車、いわゆる電動キックボード等の車両区分の創設に伴う軽自動車税の税率などについて定める、池田市市税条例の一部改正案が提案されました。審議の結果、全会一致で可決しました。

## 市内公共施設等の再整備事業計画を策定

高度経済成長期に建設された公共施設の老朽化問題は、全国的に大きな課題となっており、本市においても現状の公共施設を全て維持していくことは困難である。この課題に対し、公共施設再編計画を円滑に推進するため、本計画策定に係る補正予算案が提案されました。

審議の中では、公共施設の再編整備の推進は、市民サービスの低下を招き、住民の福祉の増進という自治体本来の役割を果たし得なくなるとの反対意見が出されました。一方、公共施設全体の状況を把握し、最適配置を行うことは、長期的視点から財政負担の平準化につながり、将来のまちづくりを進める上で、必要不可欠であるとの賛成意見が出されました。結局、採決の結果、賛成多数で可決しました。

## 意見書

6月定例会においては、次の意見書を採択し、関係機関に送付しました。

○国の負担で学校給食費の無償化を求める意見書

## 永年勤続議員表彰

去る6月14日の全国市議会議員会総会において、山田正司前議員、川西二郎前議員、前田敏前議員、細井警前議員が20年勤続表彰を受けました。



## 「声の市議会だより」を郵送で貸し出します

市内にお住まいの視覚障がいのある方（障がい者手帳をお持ちの方）に、「声の市議会だより」を無料で、郵送により貸し出しています。

お気軽にお問い合わせください。  
お問い合わせは議会事務局  
(電話) 754・6170

○市長提出議案及び議決の結果（5月臨時会・6月定例会）

議 案 名	議決の結果
専決事項の指定に係る処分報告について 専決第1号 損害賠償の専決処分について	報 告
処分報告について 専決第1号 池田市市税条例の一部改正について	承 認(全員異議なし)
処分報告について 専決第2号 令和4年度池田市一般会計補正予算(第15号)	承 認(全員異議なし)
処分報告について 専決第3号 令和5年度池田市一般会計補正予算(第2号)	承 認(全員異議なし)
債権の放棄に係る報告について	報 告
池田市監査委員の選任について	同 意(全員異議なし)
池田市監査委員の選任について	同 意(全員異議なし)
令和5年度池田市一般会計補正予算(第3号)	原案可決(全員異議なし)
令和4年度池田市公共下水道事業会計予算繰越計算書について	報 告
令和4年度池田市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報 告
池田市市税条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
動産の取得について	原案可決(全員異議なし)
動産の取得について	原案可決(全員異議なし)
動産の取得について	原案可決(全員異議なし)
池田市教育委員会委員の任命について	同 意(全員異議なし)
池田市公平委員会委員の選任について	同 意(全員異議なし)
池田市農業委員会委員の任命について	同 意(全員異議なし)
池田市職員懲戒審査委員会委員の選任について	同 意(全員異議なし)
財産区管理委員の選任について	同 意(全員異議なし)
人権擁護委員の推薦に関する諮問について	同 意(全員異議なし)
令和5年度池田市一般会計補正予算(第4号)	原案可決(賛成多数)
令和5年度池田市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決(全員異議なし)
令和5年度池田市一般会計補正予算(第5号)	原案可決(全員異議なし)

○議会・議員提出議案及び議決の結果（5月臨時会）

議 案 名	議決の結果
議長選挙について	終 結
副議長選挙について	終 結
議会運営委員会委員の選任について	選 任(全員異議なし)
常任委員会委員の選任について	選 任(全員異議なし)
常任委員会委員長の選任について	選 任(全員異議なし)
常任委員会副委員長の選任について	選 任(全員異議なし)
大阪府都市ボートレース企業団議会議員の選挙について	終 結
特別委員会委員の選任について	選 任(全員異議なし)
特別委員会委員長の選任について	選 任(全員異議なし)
特別委員会副委員長の選任について	選 任(全員異議なし)



一般質問は、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、定例会に限って行います。今議会は16人の議員が市政全般について、市長及び関係部署の考えをたきました。主な内容は次のとおりです。

(一般質問の内容については、質問議員各自の原稿によって編集しています。)

**問** 若者世代に対する定住支援策について

(自由民主党)

全国的に人口減少が加速し、様々な理由で社会動態が変動する中、本市でも2030年の人口は約9万7千人と推計されている。

第7次池田市総合計画最終年度の2032年度に本市が人口10万人を維持するには、住民登録をしていない地方から来た学生等に対して本市の魅力を発信して、1人でも多くの若者世代が本市に住み続けてもらうことも1つの施策と考える。このような若者世代に対して、何か支援策を事業化する考えは。

**答** まちづくり人口の拡大や相互交流が重要

第7次池田市総合計画が目指す、2032年度に人口10万人の定住人口を維持という目標の達成に向けては、交流人口や関係人口等からなる「まちづくり人口」の拡大や相互の交流を定住人口の増加へとつなげていくことが重要である。今後、地方創生の推進施策を整理した「第2期池田まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、社会状況に応じた改訂に向けた検討を進める。



**問** 市税免税による創業者支援について

(池田未来の会)

一定期間(3〜5年間)の市税を免税することにより、創業者・起業家を呼び込み、さらなる創業支援ができないか問う。

**答** 税の公平性・中立性の観点から実施は困難

本市で創業・起業を行う事業者に対する税の減免措置は将来における市税収入の確保、商業活性化等の可能性を秘めるものであるものの、創業・起業に公益性があるとは言えず、既存事業者との税負担の均衡に鑑みれば、実施は困難。

**問** 行政と地域の伴走型サポートについて

(池田未来の会)

地域が活性化する上で各種団体の必要性を感じている。ただ、これまで本市は自治会等との関わりが希薄であったように感じているが、今後の地域との関わりについて見解を問う。

また、近隣他市のホームページでは自治会に関する情報が充実している。特にどの地域にどのような自治会があるかが可視化されている「自治会マップ」を本市で運用できないか見解を問う。

**答** 地域の各種団体と行政が連携強化を図る

自治会のみならず、地域コミュニティ推進協議会も介しながら、地域の各種団体と連携を強化し、協働を図りながら、「コミュニティの醸成」に努める。

また、「自治会マップ」については、市民・本市への転入希望者・各種団体等が本市のホームページ上から「自治会マップ」を活用することで、自治会への加入促進や自治会への簡易なアプローチ等につながるものと考え、令和6年度に「自治会マップ」作成の予算化ができるように検討している。

**問** 自衛隊への若者名簿提供やめよ

(日本共産党)

岸田政権が戦争する国づくりを進める中、18歳と22歳の名簿を市民が知らない間に自衛隊に提供していたことが明らかになった。直ちにやめるべきと考える。

**答** 今後も続ける  
除外申請は検討

自衛隊法の規定に基づき、今後も継続するが、市民からの名簿除外申請は実施する方向で検討する。

## 一般質問議員

一般質問を行った議員は、次のとおりです。

- 1 笹村 有理子 (大阪維新の会池田)
  - 2 名村 研二郎 (未来はぐくむプロジェクト)
  - 3 沖本 純子 (大阪維新の会池田)
  - 4 園部 佳子 (未来はぐくむプロジェクト)
  - 5 松本 康二郎 (自由民主党)
  - 6 胡摩達 亮太 (大阪維新の会池田)
  - 7 古川 裕倫 (大阪維新の会池田)
  - 8 西垣 智 (自由民主党)
  - 9 倉田 晃 (未来はぐくむプロジェクト)
  - 10 守屋 大道 (池田未来の会)
  - 11 坂上 昭栄 (池田未来の会)
  - 12 藤本 昌宏 (公明党)
  - 13 中田 正紀 (池田未来の会)
  - 14 山元 建 (日本共産党)
  - 15 荒木 眞澄 (公明党)
  - 16 藤原 美知子 (日本共産党)
- (※質問順)

**問** 依存症で生活破壊  
カジノやめよ

(日本共産党)

IRカジノはギャンブル依存症をはじめとした住民の生活困難を引き起こし、経済発展にもつながらない。莫大な公金支出も避けられない。そもそも賭け事推進は、自治体の責務である住民福祉の向上と相入れない。市は直ちに国・府に中止を求めるべき。

**答** 中止は求めない

国の認定を受けて推進され、依存症対策も進められている。中止は求めないが、情報収集を継続。

**問** 学校給食費無償化へ  
制度として継続実施を

(日本共産党)

学校給食は食育であり、教育費無償の原則で本来国が無償化するべきである。国が実施するまでは本市で先行し継続実施してはどうか。

**答** 年度ごとの予算編成で  
無償化を判断

国に恒常的実現への要望を行う。市独自の実施には約4億円の事業費がかかるため、年度ごとの予算編成の中で最終的に判断する。

**問** 本市の今後の取組について

(大阪維新の会池田)

本市の新たな財源確保策と事業者支援をさらに拡充する必要があると考えるが。

**答** 第7次総合計画に基づき  
順次対応が必要

今後は国や大阪府等の補助制度や、有利な起債の活用、企業版ふるさと納税のさらなる活用、新たな歳入確保策にも取り組む。事業者支援については「事始め奨励事業」などにより、市内事業者支援のため、様々な創業支援施策を行っている。

**問** 女性活躍推進について  
現状と取組を問う

(未来はぐくむプロジェクト)

多様性がかなう社会を実現するための第一歩となる女性活躍実現に向けて、本市の女性幹部割合、女性登用への取組はどうか。

**答** 課長以上の管理職員の  
女性割合は14・8%

女性管理職員の割合内訳は課長級で20%、部長次長級で3%となっており、特定事業主行動計画の各役職段階に占める女性職員割合の目標値を踏まえ、人事評価制度を活用し、積極的に登用していく。

**問** 行政の生産性向上について

(大阪維新の会池田)

組織の生産性を高めるために、ムリ・ムダ・ムラの排除などに取り組む必要があるが、横断的なワーキンググループはあるか。市や部署のミッションは明確か問う。

**答** 行政運営効率化は課題であり  
取り組み中

DX推進は、ワーキンググループでの議論を実施。ペーパーレス会議やチャットツールなどを活用し業務改革に取り組み中。第7次総合計画がめざすまちの将来像の実現に向けて各施策を推進。



**問** 人口減少下の女性活躍推進の現状について  
(大阪維新の会池田)

**答** 池田市男女共同参画推進計画の次のKPI達成は順調か。女性のいない審議会比率(0%)、審議会女性比率(40%)、女性管理職比率(20%)、男性職員の育児参加休暇(60%)の状況を問う。

**答** 庁内調査を行い  
是正の助言をしている

女性のいない審議会は19・7%、審議会女性比率は27・7%、女性管理職比率は14・8%、男性職員の育児参加休暇取得率は53・8%。

**問** チャットGPTで  
行政のデジタル化推進を  
(公明党)

**答** 全国的に、チャットGPTを活用した文章作成を取り入れた自治体もある。本市においても職員の負担軽減への効果を目的として、安全性を見極めながら活用を。

**答** 現時点では  
新しい技術動向に注視するのみ

行政事務において活用可能な分野もあるが、セキュリティー対策を期するため、現時点では積極的な活用は予定していません。

**問** 奨学金の代理返還制度を  
導入する企業支援を  
(公明党)

**答** 若者が夢と希望を持って生きられる環境を整えることも非常に大切である。そこで、奨学金の返済に悩む若者の支援、人材不足に悩む地元企業の支援、そして地域の活性化にもつながる制度として、本市において、奨学金の代理返還制度を導入する企業に対する行政からの支援制度を創設してはどうか。学生と企業と地域社会の活性化を図ることは大変有意義と考えるが、見解を問う。

**答** 国の動向を注視しつつ  
必要な対策を講ずる

奨学金については、6月13日に閣議決定された「こども未来戦略方針」においても、その返済が少子化の要因の1つとなっているとの認識のもと、各種支援の充実及び負担軽減が方向性として示された。若者の生活、ひいては企業活動にも関わる課題として、国などの動向を今後も注視しつつ、本市としても必要な対策を講じていく。

**問** 学校における留守番電話の  
導入について  
(未来はくくもプロジェクト)

**答** 学校における留守番電話の導入は、教職員の勤務時間の適正化に効果を発揮する事例が多いが、今後の予定を問う。

**答** 留守番電話の導入に向けて  
検討していく

大阪府下の自治体でも留守番電話の導入が進んでおり、教職員における働き方改革の推進のため、本市でも導入に向けた早急な検討が必要。

**問** ほそごう学園の  
特認校制度の活用について  
(未来はくくもプロジェクト)

**答** 特認校制度について、活用状況と今後の方向性について問う。

**答** 今後も魅力的な学園づくりを  
支援していく

現在、特認校制度を活用し、他の校区からほそごう学園に通学している子どもたちは17名。今後も、子どもの発達に合わせた指導体制、地域の教育資源を生かした体系的な人權総合学習の取組の推進など、魅力的な学園づくりを支援していく。

**問** 留守家庭児童会  
受入体制の構築について  
(池田未来の会)

**答** 入会児童数の変化を見ると、この18年間で総数は910人に、利用率は36・3%となり、2倍以上に増加している。受入体制の構築や働き方・施設整備について問う。

**答** 人員不足の解消や  
適切な事業運営に努める

受け皿(施設整備)と指導員の確保を一体的に措置する必要があり、その確保策が喫緊の課題と認識。施設整備についても教育委員会事務局が諸問題の整理を進め、解決に向けた方策を検討。

**問** 市立池田病院の  
分娩環境について  
(未来はくくもプロジェクト)

**答** 市立池田病院では一部の早産や多胎児出産に対応できないが、今後の方向性を問う。

**答** 地域全体で最適な分娩環境を  
提供していく

地域全体でより最適な分娩環境を提供できるよう、また身近な場所です心安心して出産したいと希望される妊婦さんや家族の思いにも寄り添える場所となるよう取り組んでいく。





**問** 市立池田病院のコロナ患者  
受入体制について

(池田未来の会)

新型コロナウイルス感染症の感  
染症法上の位置づけが5月8日よ  
り5類に移行された。人とのつな  
がり以前の環境に戻りつつある  
が、受入体制の変化について問う。

**答** 重症・中等症患者受入を  
重点化

市立池田病院はこれまでの受入  
れ経験を踏まえ、重症・中等症患  
者の受入れに特化。また、6月から  
マスクの着用は求めるものの、面会  
制限を一部緩和したところである。

**問** 市立池田病院の体制と  
経営戦略について

(大阪維新の会池田)

休日における小児科診療の受入  
れとホスピス緩和ケア病棟設置の  
取組並びに経営戦略について問う。



**問** 必要十分な医療サービスの  
提供と体制で

(池田未来の会)

豊能広域こども急病センターと  
連携した小児救急医療体制の充実  
に取り組む。ホスピス緩和ケアの  
設置は難しいが、患者に寄り添っ  
た体制づくりを目指す。コロナの  
空床補償に係る補助金は縮小だ  
が、医療サービスの向上に努め、  
財務体質と収益向上を図っていく。

**問** 地域共生社会における  
重層的支援体制は

(池田未来の会)

属性や世代を問わない相談・地  
域づくりの実施体制の現状はどの  
ようになっているのか。

**問** 必要に応じ  
重層的支援体制整備を検討

(池田未来の会)

第4期地域福祉計画・第5次地  
域福祉活動推進計画を策定した。  
その計画において、包括的支援体  
制の構築に向けて「相談支援、参  
加支援、地域づくり」に一体的に  
取り組む、関係機関と連携し、実  
現できるよう検討を進めている。

**問** マイナ保険証と資格確認書の  
取扱いについて

(日本共産党)

マイナンバーカードの取得は自  
由であるにもかかわらず、政府は  
健康保険証と一体化させ、来年秋  
に紙の健康保険証廃止を決めた。  
その一方でカードを持たない人に  
は資格確認書の交付を規定した。  
混乱を避け、市民の命を守る観点  
から資格確認書は申請ではなく職  
権で交付・送付すべきではないか。

**問** 国の方針が示されれば  
適切に対応したい

(池田未来の会)

保険者が職権により交付できる  
よう運用方法を検討する予定と聞  
き及んでおり、国の方針が示され  
た後、適切に対応したい。



**問** 池田市子ども条例と  
子どもの権利について

(大阪維新の会池田)

権利の主体である子どもたちへ  
権利条約の内容を伝えるため、池  
田市子ども条例に子どもの権利を  
明記し、子どもの意見表明支援や  
子どもアドボカシー等が行える権  
利擁護機関等の設置の必要性につ  
いて見解を問う。

**問** 当事者である子どもの意見は  
非常に重要

(池田未来の会)

子どもの権利については、池田  
市子ども条例の基本理念におい  
て、子どもが有する諸権利の尊重  
及び保護について規定している。

これまでも、子どもの権利が守  
られる環境の整備、充実に努めて  
いる。今後の国の施策の動向も勘  
案しながら、子どもの意見を取り  
入れる手法を検討していく。

また、市内イベントの周知のた  
めのイベント総合情報カレンダー  
の作成については、地域振興や観  
光誘致にとっても、大変有益なも  
のと考えており、掲載範囲等の問  
題もあるが、検討していく。

**問** 子どもたちの安心・安全な環境について  
(大阪維新の会池田)

**答** 幼稚園等の送迎バスの安全装置の設置状況と市内の防犯カメラの設置台数を問う。  
また、不審者対応訓練の現状は。

**問** 子どもたちの安全確保に努める

**答** 送迎バスの安全装置の取付けは補助金を創設しており、適宜対応している。防犯カメラは今年度302台に増設。不審者対応訓練はコロナ禍で一部できていなかったが今年度より全校で実施予定。

**問** 民生委員の負担軽減等成り手不足対策を  
(公明党)

**答** 全国で民生委員の欠員が深刻な課題。対策として、さいたま市では、民生委員協力員制度を導入。協力員は、民生委員が行う見守り活動及び資料配布の補佐・協力等を行い、民生委員の負担の軽減を図ること。そこで、本市においても、協力員制度の導入を。

**問** 民生委員の負担軽減に努める

**答** 民生委員児童委員協議会と協力員制度の導入の可否について検討する。また、相談支援を充実し、負担軽減に努める。

**問** 細河・伏尾台地域の課題解決の取組について  
(未来はくくもプロジェクト)

**答** 人口減少が進む地域において、特に住環境保全と住宅供給の観点から空き家対策が重要である。「放置された空き家」への対応の現状と今後の方向性について問う。

**問** 所有者への指導強化と意識啓発に取り組む

**答** 空き家対策特別措置法の改正を受け、管理不全となっている空き家について、これまでの適正管理の助言に加え、指導・勧告ができることから、所有者への指導強化とともに意識啓発に取り組む。

**問** 空き家対策の今後の取組について  
(大阪維新の会池田)

**答** 空き家を減らすための周知と各関係団体との連携が必要。

**問** 所有者への指導や案内チラシを同封し周知

**答** 空き家バンク制度の開始後5年で登録件数は10件。その状況を改善するため、空き家の適正管理の指導文書を送付する際、バンク制度のチラシを同封している。

**問** 自転車ヘルメット着用の努力義務化について  
(未来はくくもプロジェクト)

**答** 令和5年度から自転車ヘルメット着用の努力義務化が全世代に拡大されたが、着用率を上げるために、どのように取り組むのか。

**問** 着用率の向上に向け交通安全教育を行う

**答** 平成17年度より幼児用ヘルメットを無償配布し、幼少期からヘルメット着用の習慣づけを図っている。池田警察署、池田交通安全協会と連携し、各年齢層に応じた交通安全教育を行っていく。



**問** 市街化調整区域の活用について  
(自由民主党)

**答** 細河地域においては、大自然の緑とデジタル化を融合した近未来的なグリーンオフィスなどの企業誘致の促進が必要と考えるが。

**問** 細河地域への企業誘致や雇用創出を図る

**答** 池田市市街化調整区域まちづくり基本方針に基づき、地域振興拠点整備の検討やスマート農業の普及に努めることで、企業誘致や雇用創出につなげていく。

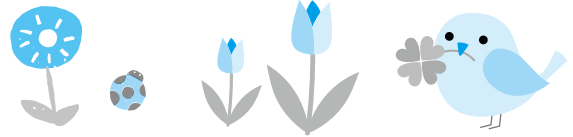
**問** 阪急バス減便への具体的な対策は  
(自由民主党)

**答** 高齢者や障がいのある方の利用性が低下しており、オンデマンドバスのような利用者の需要に合わせたフレキシブルな移動手段の提供が必要と考えるが。

**問** 交通事業者と連携して取り組んでいく

**答** それぞれの地域に応じた円滑な移動環境の実現や、持続可能な公共交通の確保に努める。

# 委員会 レポート



6月定例会では、市長から提出された14件の議案のうち7件を、市議会に設置している常任委員会に審査付託し、細部にわたり慎重に審査しました。6月29日の本会議では、各委員長が審査の結果報告を行い、市長から提出された議案はいずれも原案どおり可決しました。各委員会での審査の主な内容は、次のとおりです。

## 総務委員会

公共施設等再整備事業計画  
策定の意図は

〈一般会計補正予算〉

**問** 公共施設等再整備事業計画策定事業の計画策定委託料として1千万円の補正予算を計上している。これは、公共施設の再編を推進するために、公共施設保有量の削減目標を設定し、必要なサービス水準を確保しつつ、施設の最適化を図るための計画に係る策定費用とのことである。

本予算では2か年で策定予定の初年度分として市民ニーズ等の収集及びデータ分析をもとに削減目標を設定し、計画策定に向けた取組と課題整理を行うとのことだが、削減ありきの計画策定ではないか、見解を問う。



市民負担軽減の観点からも  
施設の再編は必要

**答** 本市のほとんどの公共施設は、高度経済成長期に人口や税収の増加を見込んで建設されたものであり、老朽化が進んでいる。

令和2年の国勢調査では本市の人口は増加しているが、将来的には減少が想定されるため、公共施設の総量を将来推計人口や市民ニーズに見合った規模に再編し、最適化していく必要があると考え、仮に既存の公共施設数を維持することを前提として更新工事等を行った場合、今後40年間で約1500億円、年平均で約38億円もの費用を要するとの試算が出ている。限られた財源の中で市民負担軽減の観点からも、施設の再編は必要であると考えている。

## 文教病院委員会

電子図書館システムの  
導入スケジュールは

〈一般会計補正予算〉

**問** 今回、図書館に電子図書館システムを導入することだが、当該システムのサービス開始までのスケジュールについて問う。

また、サービス開始時に提供される電子書籍などのコンテンツ数について問う。

年内にはサービス開始予定

**答** 電子図書館システムのサービス開始までのスケジュールについては、補正予算案が可決されれば、7月上旬に公募型プロポーザルに係る事業者の募集を開始し、8月下旬に開催予定の選定委員会において、事業者からの提案を審査し、受託候補者を決定する予定である。その後、9月中に受託候補者と契約を締結し、2か月程度でシステムの構築、電子書籍などのコンテンツの選定を行い、年内にはサービスを開始したいと考えている。また、サービス開始時に提供するコンテンツ数については、1800タイトルを予定している。



# 土木消防委員会

## 13m放水塔付消防自動車の更新によるメリットは

《動産の取得》

**問** 今回 現行車両の更新車両として取得する13m放水塔付消防自動車は、バスケットを使用している車とタンク車の機能を備えた車両である。多種多様な災害に対応可能な消防体制を整えるために導入することのだが、当該車両のバスケットと放水の届く建物の階数について問う。

また、当該車両への更新によるメリットについて問う。

## メンテナンス費用が大幅に削減

**答** バスケットの届く建物の階数は、ビルの4階から5階程度で、放水の届く建物の階数は、ビルの6階から7階程度である。

また、当該車両への更新によるメリットは、現行車両では購入後、17年間で2回の大規模点検であるオーバーホールを行う必要があり、約5千万円支出したが、当該車両においてはオーバーホールの必要がないため、メンテナンス費用を大幅に削減することができる。

# 議会日誌

## 5月

5月15日 各派代表者会議

5月18日 市議会臨時会

各派代表者会議

## 6月

6月6日 各派代表者会議

議会運営委員会

6月9日 市議会定例会

市議会だより編集特別委員会

6月12日 土木消防委員会

6月13日 厚生委員会

6月15日 文教病院委員会

6月16日 総務委員会

6月29日 各派代表者会議

議会運営委員会

市議会定例会

6月30日 市議会定例会

議会運営委員会

## 7月

7月13日 市議会だより編集特別委員会

7月18日 市議会だより編集特別委員会

7月24日 空港・交通問題調査特別委員会

7月26日 まちづくり防災特別委員会



## 議会の予定

9月定例会は、次の日程で開催する予定です。本会議・委員会はいつでも傍聴できます。開会は、いずれも午前10時からの予定です。(定員あり)

9月	5日(火)	本	会	議
9月	7日(木)	委	員	会
9月	8日(金)	委	員	会
9月	11日(月)	委	員	会
9月	12日(火)	委	員	会
9月	26日(火)	本	会	議
9月	27日(水)	本	会	議

# やまばと

市民の皆様には、平素より池田市議会の活動に對しまして、御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

4月の統一地方選挙を経て、議員の顔ぶれも新たになり、5月の臨時会において本年度の正副議長、常任委員会、特別委員会を含めた議会議程が決定いたしました。

市議会だより編集特別委員会も新たなメンバーとなり、これまで以上に分かりやすい市議会だよりを目指すとともに、市民の皆様が読まれて「池田市に住んでよかった」と言っていただけのような紙面づくりを心がけていきます。

今後とも「いけだ市議会だより」を御愛読いただきますよう、よろしくお願いいたします。



市議会だより編集特別委員会

委員長	西垣 智	委員	藤本 昌佳
副委員長	中田 正紀	委員	本園 元
委員	笹村 有理子	委員	山 元